



2023年4月13日

各位

会社名 株式会社 マックハウス
代表者名 代表取締役会長兼社長 舟橋 浩司
(コード番号7603 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 管理部管掌 坂下 和志
(TEL. 03-3316-1911)

当社の親会社 株式会社 チョダ
代表者名 代表取締役社長 町野 雅俊
(コード番号8185 東証プライム)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年2月期通期決算におきまして、2022年10月11日に公表いたしました2023年2月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正について

(1) 2023年2月期通期業績予想の修正 (2022年3月1日～2023年2月28日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|----------------------------|--------|--------|------|--------|----------------|
| 前回発表予想 (A) | 19,100 | △450 | △350 | △750 | △48円53銭 |
| 今回修正予想 (B) | 18,443 | △726 | △617 | △1,056 | △68円36銭 |
| 増減額 (B-A) | △656 | △276 | △267 | △306 | — |
| 増減率 (%) | △3.4 | — | — | — | — |
| (ご参考) 前期実績 (2022年2月期通期) | 18,155 | △1,078 | △887 | △1,309 | △84円85銭 |

(金額の単位：百万円)

(2) 修正の理由

プライベートブランド「NAVY」を中心に、お客様の声を商品企画に取り入れた機能性商品の重点販売や立地特性を考慮した品揃えの変更など、業績の向上に取り組んでまいりましたが、第3四半期においては、気温が高く推移し、秋冬商品の立ち上がりが遅れ、客数が減少し、売上が低下しました。また第4四半期は、売上高は予測とおりに推移しましたが、秋冬商品の消化促進による値下げが影響し、粗利率は計画を下回りました。

これらの結果、第4四半期累計期間における販売実績は、既存店売上前年比104.2%、既存店客数前年比100.0%、既存店客単価前年比104.2%となりました。

利益面につきましては、販売費及び一般管理費のコントロールを行い、営業利益の確保に努めました。売上高及び粗利率の低下により、業績予想を下回る見込みです。

以上の結果、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益は前回発表予想を下回る見込みとなり、2023年2月期通期の業績予想を修正いたします。

(注) この資料に記載されている業績等の予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上